

わたしのまちの健康プロフィール

— 西部保健所版 —

作成日：令和7年12月

1 管内の概要

◆大分県西部保健所

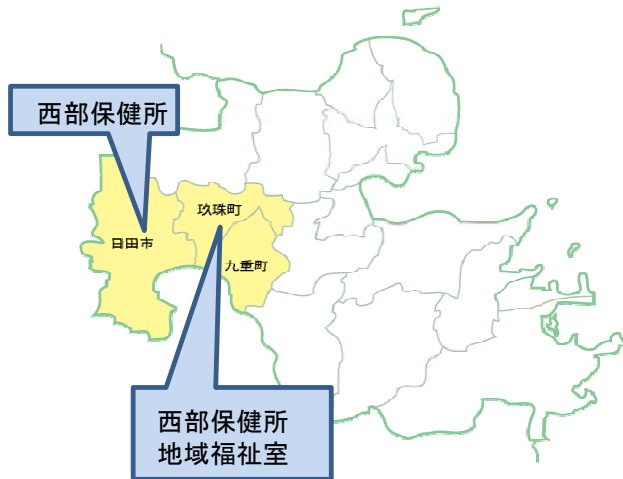
〒877-0025 日田市田島2-2-5

TEL 0973-23-3133 / FAX 0973-23-3136

◆大分県西部保健所 地域福祉室

〒879-4413 玖珠郡玖珠町塚脇137-1

TEL 0973-72-9522 / FAX 0973-72-1016



2 人口

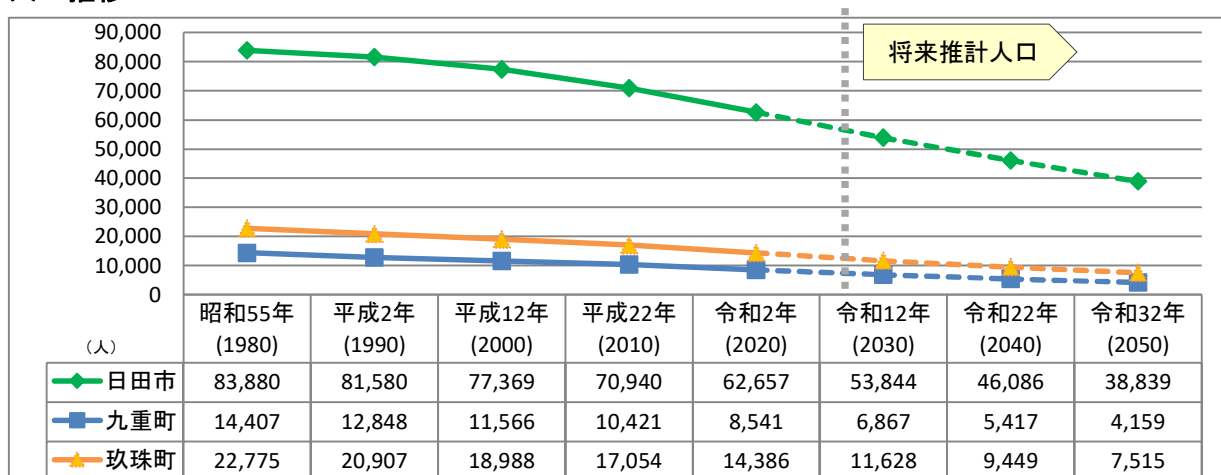
(1) 世帯数・人口・高齢化率

令和6年10月1日

区 分	世 帯 数	総 人 口			高齢化率	県内順位
		総数	男	女		
大分県	498,309	1,085,198	517,032	568,166	34.4%	
管内	34,351	79,865	38,101	41,764	39.1%	
日田市	25,358	58,881	28,020	30,861	37.7%	13位
九重町	3,306	7,780	3,691	4,089	46.8%	4位
玖珠町	5,687	13,204	6,390	6,814	40.8%	9位

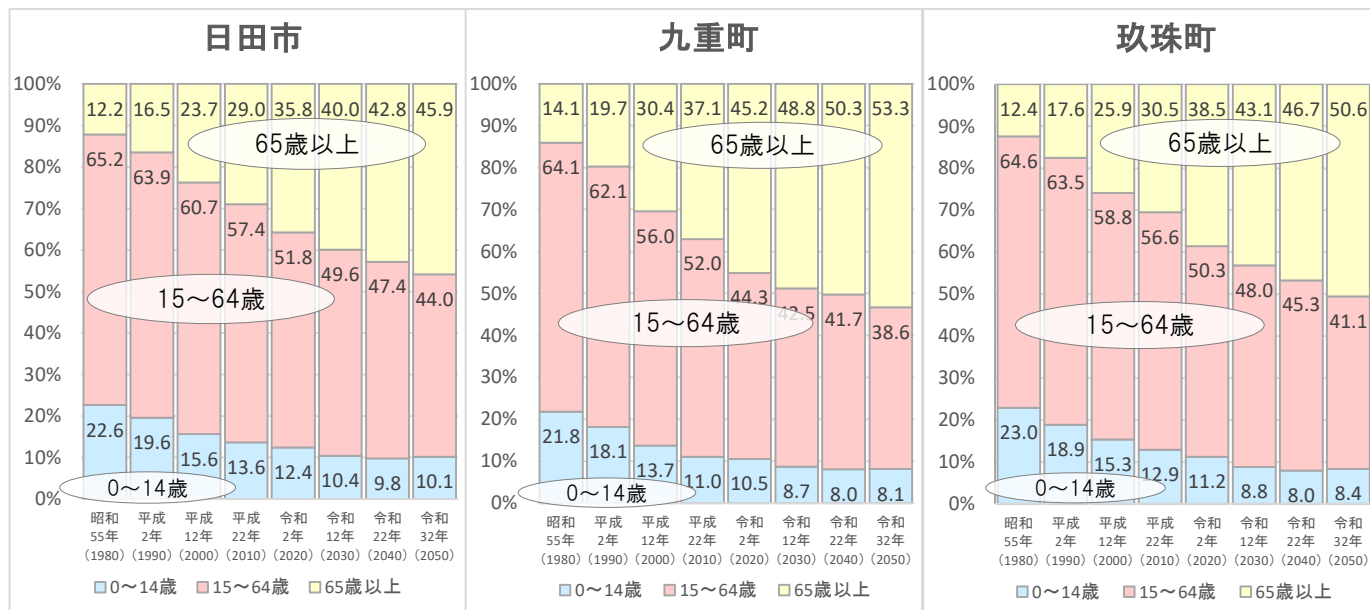
資料：人口・世帯数は、県統計調査課「大分県の人口推計」 人口は不詳者含む

(2) 人口推移



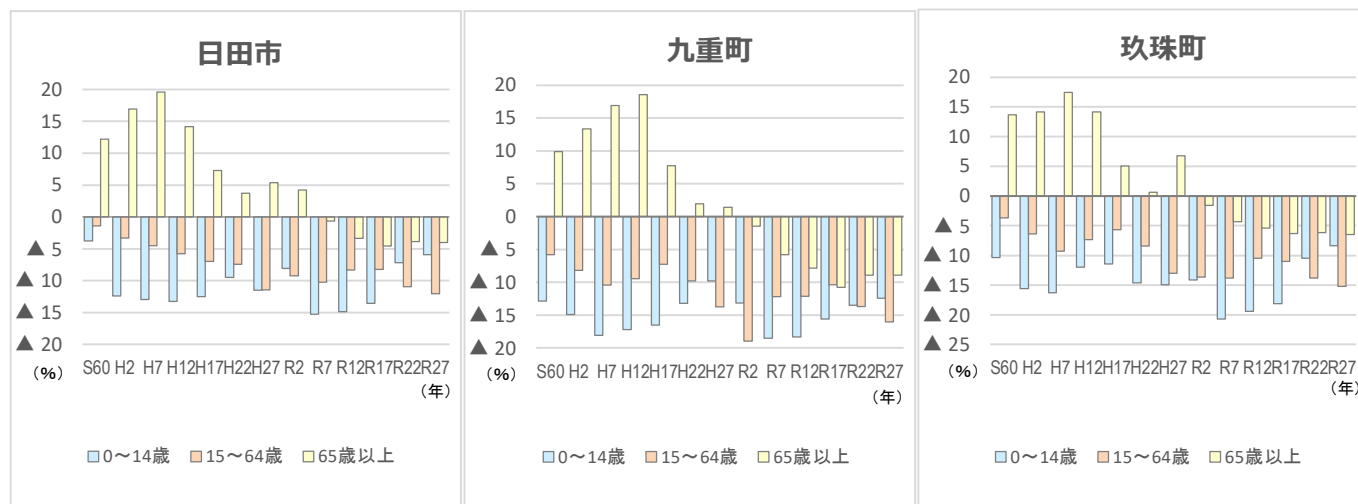
- ・令和6年10月時点では管内の総人口が79,865人となっており、徐々に減少しています。今後も人口減少が見込まれており、令和32年には令和6年度現在と比べて4～5割の人口減少が予想されます。
- ・高齢化率は日田市は県内13位、玖珠町は県内9位、九重町は県内4位となっています。

(3) 年齢3区分別人口割合の推移



・年齢3区分別人口ではいずれの市町でも65歳以上の割合が上昇することが予想されています。

(4) 年齢3区分別人口増減率の推移（5年ごと）



【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(令和5年4月公表)に基づく推計値
 人口増減率=(A-B)÷B (A:表示年を指定するで指定した年の人口 B:Aの5年前の人口)

・年齢3区分別の人口増減率の推移では、65歳以上人口が九重町、玖珠町では令和2年から減少に転じており、日田市でも令和7年から減少に転じることが見込まれ、今後すべての年齢区分で人口が減少すると予想されています。

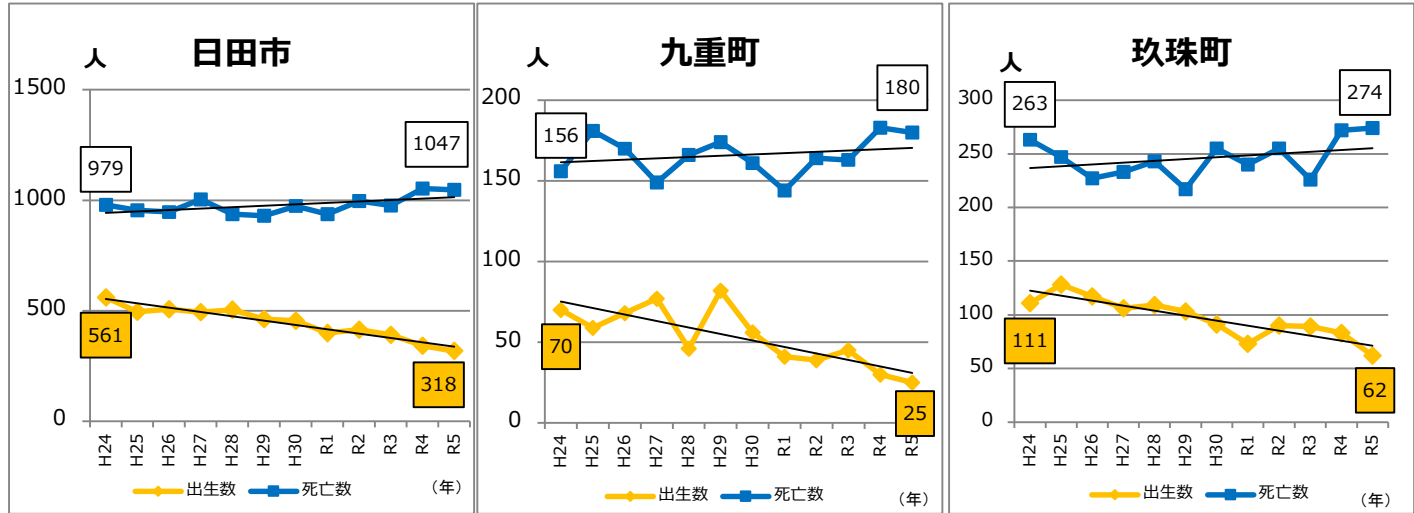
(2)(3)(4)の資料:昭和55年～令和2年は総務省統計局 国勢調査(人口総数)
 令和12年～令和22年は国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来人口推計(令和5年推計)
 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

3 人口動態
(1)出生・死亡

令和5年

Table with 6 columns: Location, Birth Count, Birth Rate, 2,500g or less Birth Count, Death Count, Death Rate. Rows include Oita Prefecture, Kitatsuru City, Kuze Town, and Kuzumaki Town.

資料:厚生労働省「人口動態統計」

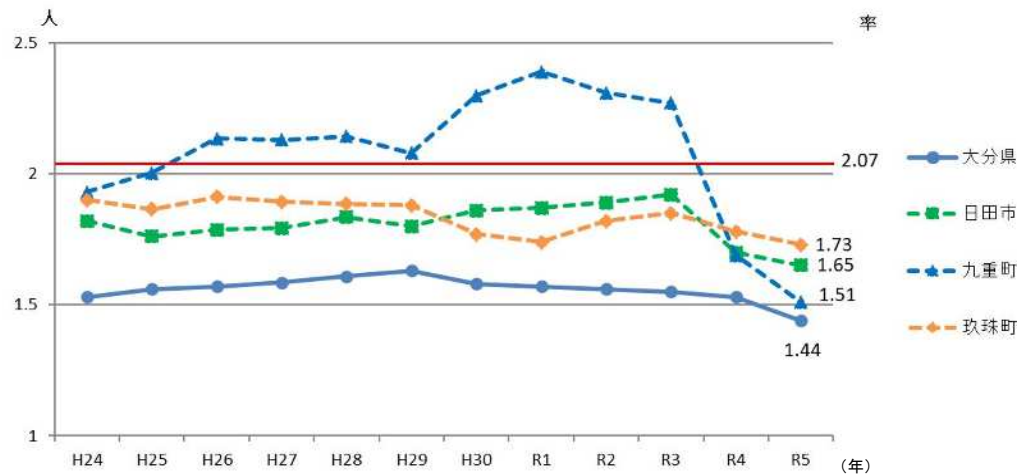


資料:厚生労働省「人口動態統計」

・すべての市町において死亡数が出生数を大きく上回っていることから人口の自然減が続いていくと考えられます。

(2)合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、「1人の女性が一生の間に産む子どもの数」のことです。人口の維持のためには2.07以上を必要とされています。

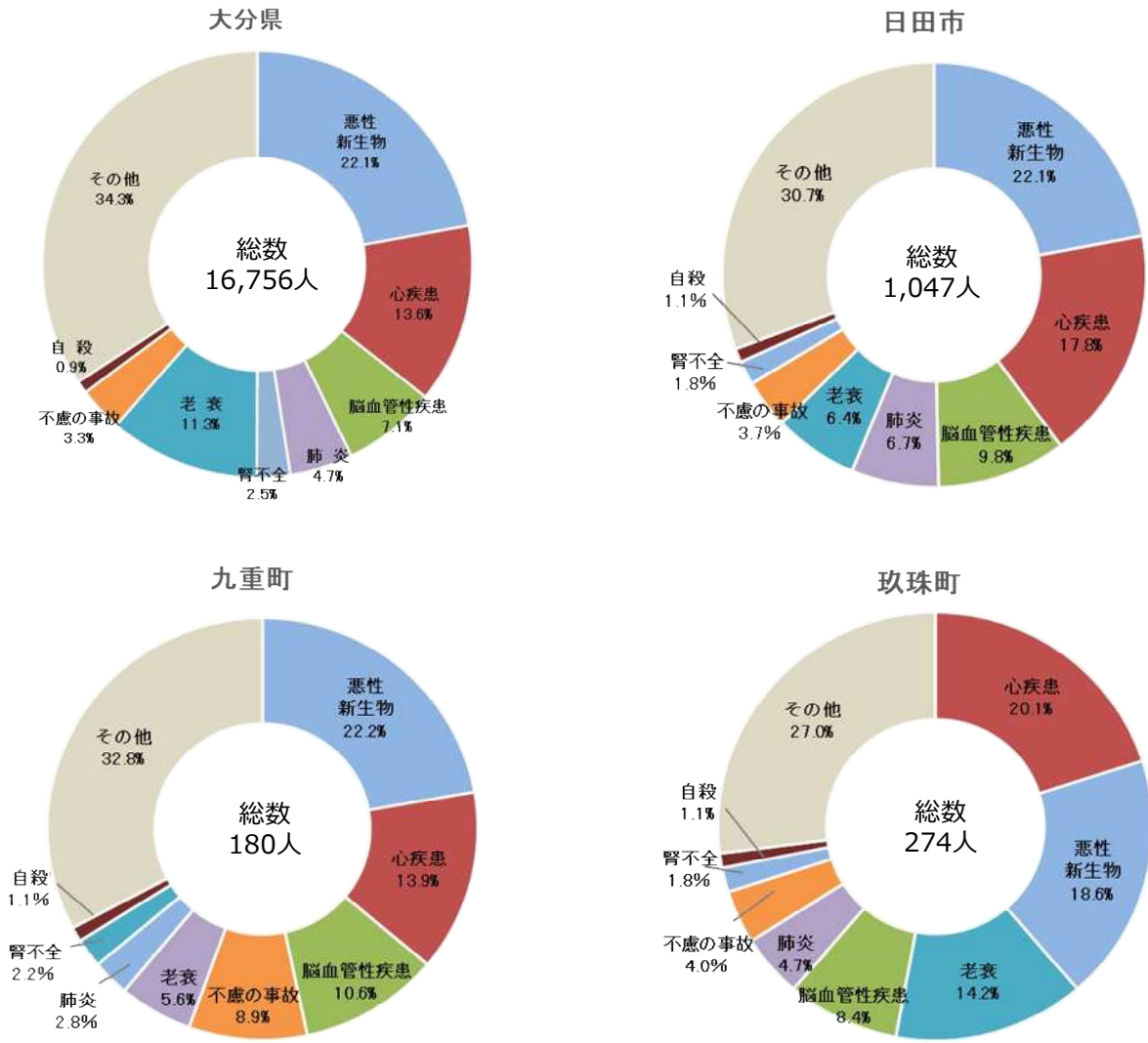


資料:厚生労働省「人口動態統計」
市町の合計特殊出生率:県福祉保健企画課調べ(その年次を含む前5年間の平均値)

・管内の合計特殊出生率は県全体よりも高い数値で推移していますが、いずれの市町も人口の維持に必要な数値は下回っています。

(グラフを見るとき)の留意点
市町村の合計特殊出生率は、出生数の少なさに起因する偶然性の影響で、数値が不安定となる問題があるため、5年間平均として算出することにより、地域間の比較が可能な指標としています。ただし、出生数が年間100人を下回るような市町村においてはなお、偶発的要因により、極端な数値が現れることがあります。

(3) 令和5年主要死因別死亡割合



(4) 令和5年主要死因別死亡率(人口10万対)

	令和5年							
	大分県	管内	日田市		九重町		玖珠町	
	死亡率	死亡率	実数	死亡率	実数	死亡率	実数	死亡率
総数	1552.9	1869.2	1047	1769.4	180	2305.3	274	2056.9
悪性新生物	343.4	401.0	231	390.4	40	512.3	51	382.9
心疾患	211.6	331.2	186	314.3	25	320.2	55	412.9
老衰	176.0	144.5	67	113.2	10	128.1	39	292.8
脳血管性疾患	109.8	180.6	103	174.1	19	243.3	23	172.7
肺炎	73.6	109.6	70	118.3	5	64.0	13	97.6
不慮の事故	52.0	82.2	39	65.9	16	204.9	11	82.6
腎不全	38.8	34.9	19	32.1	4	51.2	5	37.5
自殺	14.6	19.9	11	18.6	2	25.6	3	22.5

(3)(4)の資料：人口動態調査都道府県標準結果(県福祉保健企画課) 注：率は人口10万対

※オレンジのセルは大分県の死亡率を上回っているもの。

- 管内の主要死因別死亡割合は、1位「悪性新生物」、2位「心疾患」、3位「脳血管疾患」となっています。
- 管内の全死因に対する人口10万人対の死亡率は大分県と比較して高くなっています。
疾患別にみても人口10万人対の死亡率は大分県と比較して、老衰と腎不全のみ低くなっており、その他の疾患ではすべて高くなっています。

4 平均寿命とお達者年齢(市町村別)

【平均寿命とは】

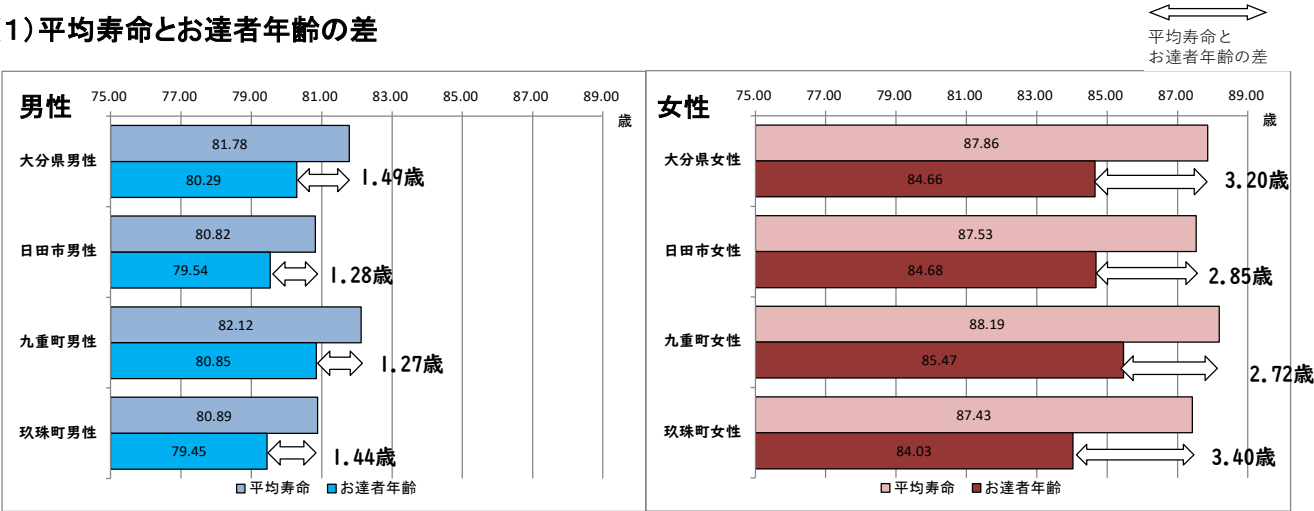
- ・「平均寿命」は、0歳の子どもの何年生きられるかを示すもので、都道府県の数値は国が5年毎に公表しています。
- ・市町村の平均寿命も5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に算出(※1)し、毎年公表(※2)しています。

【お達者年齢とは】

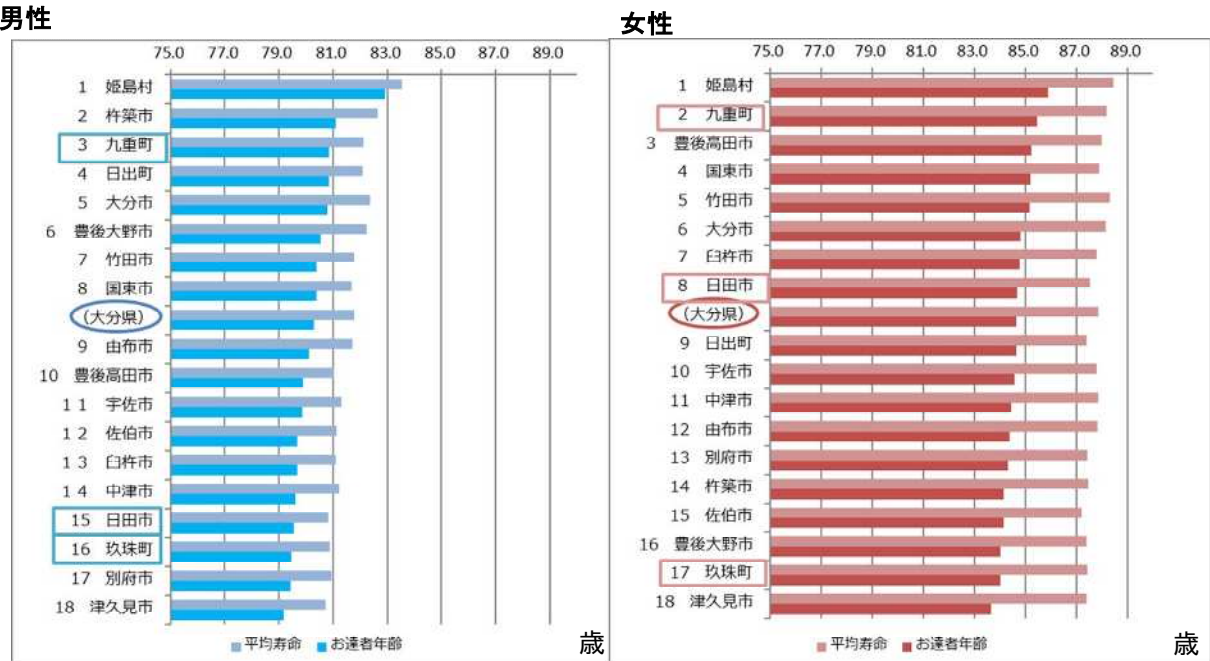
- ・「健康寿命」は、健康で過ごせる期間を示したものです。国が算出する「健康寿命」は、国民生活基礎調査の結果を基に「日常生活に制限のない期間」を算出したもので、全国値と都道府県の値が3年に1回公表されます。
- ・平均寿命と健康寿命の差は、健康ではない期間を意味しており、この期間をなるべく短くすることが必要です。
- ・市町村は人口規模が小さく、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、これに類する県独自の指標として「お達者年齢」(※3)を大分県が毎年公表(※2)しています。

※1 「毎月流動人口調査報告」等から算出
※2 人口規模が小さく単年度では精度が低くなるため、5年間平均値を使用
※3 「要介護2以上に認定を受けていない方」を健康として定義

(1)平均寿命とお達者年齢の差



(2)市町村別お達者年齢ランキング



出典: (1)(2)数字で見る「大分県の保健・福祉」

- ・管内では男性よりも女性の方が「平均寿命」及び「お達者年齢」とともに長くなっています。
- ・「平均寿命」と「お達者年齢」の差は、男性で約1.5年、女性で約3年となっており、玖珠町の女性を除き県全体より差が短くなっています。